

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2017年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習会場等について

- (1) 練習は、プログラム記載(p. 4 5)の指定された会場で、「練習会場使用日程表」に従い実施すること。
- (2) 主競技場内での練習は、競技役員の手配で、その他の会場については、練習会場係の手配に従うこと。特に、投てき練習については、監督の付き添いのもと事故防止に努めること。

3 競技場について

- (1) 競技場の競走路および助走路は全天候舗装である。
- (2) 競技用靴のスパイクの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。これらのスパイクの直径は、少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合し、数は11本以内とする。

4 招集について

- (1) 招集所は、北側スタンド裏に設ける。
- (2) 招集開始時刻（点呼開始時刻）及び招集完了時刻（移動開始時刻）は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。種目別招集開始時刻・招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照のこと。

		予選									
		100m 200m			400m 800m			1500m			
		100mH 110mH			400mH						
		組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	
ト ラ ッ ク		1,2,3	30分前	20分前	1,2,3	30分前	20分前	1	30分前	20分前	
		4,5,6	15分前	5分前	4,5,6	15分前	5分前	2	20分前	10分前	
		7,8	0分前	10分過	7,8	0分前	10分過	3	10分前	0分前	
								4	0分前	10分過	
			3000m 5000m			3000mSC			5000mW		
			組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了
			1	30分前	20分前	1	30分前	20分前	1	30分前	20分前
			2	15分前	5分前	2	15分前	5分前	2	15分過	25分過
			3	0分前	10分過	3	0分前	10分過			
						4	15分過	25分過			
			4×100mR			4×400mR					
			1,2,3	35分前	20分前	1,2	35分前	20分前			
			4,5,6	20分前	5分前	3,4	15分前	0分前			
			7,8	5分前	10分過	5,6	5分過	20分過			
						7,8	25分過	40分過			
			準決勝						決勝		
			組	招集開始		招集完了		招集開始		招集完了	
			1,2	30分前		20分前		30分前		20分前	
			3	20分前		10分前					

混 成 競 技	トラック			フィールド	
	組	招集開始	招集完了	招集開始	招集完了
	1, 2, 3	30分前	20分前	50分前	40分前
	4, 5	20分前	10分前		

	種目	予選		決勝	
		招集開始	招集完了	招集開始	招集完了
フ	走 高 跳	70分前	55分前	50分前	40分前
	男子棒高跳	135分前	120分前	90分前	80分前
イ	女子棒高跳	110分前	95分前	90分前	80分前
	走 幅 跳	70分前	55分前	50分前	40分前
	男子三段跳	70分前	55分前	50分前	40分前
	女子三段跳	60分前	45分前	50分前	40分前
ル	砲 丸 投	60分前	45分前	40分前	30分前
	円 盤 投	60分前	45分前	50分前	40分前
ド	男子ハンマー投	60分前	45分前	40分前	30分前
	女子ハンマー投			60分前	45分前
	や り 投	70分前	55分前	50分前	40分前

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとして処理する。

(4) 招集の手順

- (ア) 競技者は、前記(2)に示した招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際、ナンバーカード・競技用靴・衣類・持ち物等の点検を受けること。
- (イ) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器、その他外部と連絡可能な電子機器類を競技区域内で所持または使用することを禁止する。あらかじめ学校関係者に預けておくこと。招集所や競技場所でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり、競技終了後に返却する。(競技規則第144条3.(b)に該当)
- (ウ) 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
- (エ) 代理人による招集の最終確認は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻前までに「2種目同時出場届」を招集所に提出すること。なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場所へ移動し、担当競技役員に申し出ること。また、フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前当該競技役員にその旨を申し出ること。(競技規則第142条3確認のため)
- (オ) リレー種目について
 - ① オーダー用紙は各ラウンドにあらかじめ招集所に取りに行くこと。
 - ② 招集所で受け取ったオーダー用紙に必要な事項を記入し、各ラウンドともその種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに、競技者係(招集所)に提出すること。また、準決勝・決勝においても、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに提出すること。
- (カ) 出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに欠場届を招集所に提出すること。
- (キ) 混成競技の招集は、第1日及び第2日の最初の種目については、前記の招集時刻一覧表のとおり招集所で行う。2種目以降は、混成競技者控室で確認を受け、当該競技役員の指示に従うこと。

5 競技について

- (1) 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることができない。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (3) トラック競技は、800m以下の種目及びリレー種目の予選を9レーンで実施する。準決勝・決勝は2レーンより使用する。
- (4) トラック競技では、すべて写真判定システムによる全自動計時(電気計時)を使用する。
- (5) スターターの合図は英語とする。(「On your marks」、「Set」)

- (6) 不正スタートについては、混成競技を除いて、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。(競技規則第162条7、第200条8)
- (7) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても本競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代できる。また、リレー競技に出場するチームは、同一のユニフォームで参加しなければならない。
- (8) 4×100mリレーの第2・第3・第4走者は、主催者が用意するマーカー(1個)を使用することができる。マーカーは、出発係が現地で渡し、そのマーカー以外は使用してはならない。
- (9) 4×400mリレーの第3・第4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ通過順に内側より並んで行うこと。並んで待機している走者は、この順序を維持しなくてはならず、バトンを受け取るまで入れ替わることは認められない。コーナートップの地点は、200mスタート地点内側に設置された黄旗で示される。また、4×400mリレーのすべてのバトンパスにおいては、テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、そのゾーンの中でスタートしなければならない。
- (10) 3000m、5000m、5000m競歩の予選は、グループスタートで実施する。
- (11) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技では、マーカーを1カ所だけ置くことができる。そのマーカーは、サークルの直後あるいはサークルに接して置くこと。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (12) 棒高跳の競技者は、「アップライト等申告書」を招集所で受け取り、自分の希望する支柱(アップライト)の位置及び公式練習2回の高さを明記し、招集所に提出すること。提出された「アップライト等申告書」は、招集所の担当競技役員が現地まで持って行く。また、その内容を変更したいときは、競技役員(跳躍審判員)に申し出ること。なお、公式練習は、バーかけ練習(ゴムバー)2回とする。
- (13) 三段跳の踏切板は、砂場から、男子は予選・決勝とも13m、女子は予選・決勝とも10mの地点に設置する。
- (14) 助力について (競技規則第144条)
- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
 - ② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んではいならない。
 - ③ 助言は、競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリア(コーチ席)に限り認める。映像を見せることは可能であるが、競技区域内への吊り下げや手渡し等、競技者が視聴のため当該競技エリアから勝手に離脱するような行為は認めない。
- (15) フィールド競技の予選については、競技進行上、手拍子等の応援を禁止する。
- (16) フィールド競技の公式練習は2回とする。ただし、男女ハンマー投については、練習場での練習時間を確保し、公式練習は1回とする。
- (17) 提出書類は、下記のとおりとする。なお、T I CはNDソフトスタジアム山形正面玄関付近に設置する。※T I C(競技者案内所)＝テクニカル・インフォメーション・センターの略

	書類の種類	提出先	提出時刻
1	欠場届	招集所競技者係	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届	招集所競技者係	第1種目の招集開始時刻まで
3	リレー・オーダー用紙	招集所競技者係	各種目第1組招集完了時刻の1時間前まで
4	アップライト等申告書	招集所競技者係	招集開始時刻に
5	投てき用具検査申請書	T I C	招集開始時刻までに
6	抗議申し立て(口頭)	T I C	競技注意事項6「抗議と上訴について」参照
7	上訴申立書(文書)	T I C	競技注意事項6「抗議と上訴について」参照
8	記録証交付願	T I C	競技終了後随時
9	プログラム訂正届	T I C	7月28日は16時00分まで 7月29日～8月2日は8時45分まで

6 抗議と上訴について(競技規則第146条による)

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、各都道府県監督または当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、審判長に対して口頭でなされなければならない。抗議者はTICを通して抗議担当総務員に申し出ること。

なお、正式発表の時刻とは、大型スクリーン表示終了時刻とする。

- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定するが、審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、各都道府県監督または当該競技者の監督により、預託金10,000円を添えて「上訴申立書」がTICを通してジュリーに提出されなければならない。

なお、「上訴申立書」の提出時刻は、その種目の結果が変更された場合は正式発表から30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、または、その種目の結果が変更されなかった場合は抗議者に対してその旨が通知されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)とする。

7 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは配付された大きさのものをユニフォームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。跳躍競技の競技者は、胸部または背部のみにつけるだけでもよい。また、トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、左右後方につけること。リレー競技については4×100mは第4走者のみ左右後方に、4×400mは第2と第3走者は右側に第4走者は左右後方につけること。また、3000m、5000m、5000m競歩では、左腰に「周回記録補助システム用特別ナンバー標識」をつけること(右には腰ナンバー標識)。
- (2) 3000m、5000m、5000m競歩の予選・決勝とも、胸背部に別ナンバーカードを使用するので、出場者は、競技開始1時間前までに招集所へ別ナンバーカードを受け取りに来ること。その際、正規ナンバーカードを持参すること。
- (3) 「周回記録補助システム用特別ナンバー標識」は、フィニッシュ地点付近で回収する。
- (4) 男女とも、混成競技の最終種目では、総合順位の高いものから順番に、統一した別ナンバーカード(胸部のみ)を使用する(背部はプログラム記載のナンバーカード)。別ナンバーカードは、混成競技者係より配付する。

8 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合について

- (1) 上半身の衣類の製造会社名/ロゴの表示は、文字が高さ4cm以内、トータルのロゴの高さは5cm以内、面積30cm²以内(ベスト・レオタードは面積30cm²)の長方形とし、1カ所のみとする。また、レオタードについては2カ所表示でき、この場合は、それぞれの文字が高さ3cm以内、トータルのロゴの高さは4cm以内、面積20cm²以内の長方形とする。
- (2) 下半身の衣類の製造会社名/ロゴの表示は、高さ4cm以内、面積20cm²以内で、1カ所のみとする。バッグの製造会社名/ロゴは、2カ所表示でき、それぞれの面積が25cm²以内とする。
- (3) ソックスの製造会社名/ロゴの表示は、高さ3cm以内、面積6cm²以内で1カ所のみとし、シューズあるいは衣類製造会社のいずれかでなければならない。
- (4) 帽子・手袋等には、製造会社名/ロゴは、1つにつき1カ所表示でき、面積は6cm²以内とする。
- (5) 飲料水については、協賛社以外のメーカーのものを会社名が明示された状態で持ち込むことはできない。
- (6) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

9 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝については、主催者がルールに則り組み合わせ、レーン順を決定する。フィールド競技(走高跳・棒高跳を除く)の決勝については、3回の試技で上位8人を選出し、記録した成績の低い順に、あと3回の試技をする。トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順と、フィールド競技で予選を行った場合の決勝の試技順は、招集所入口付近とサブグラウンド内に掲示する。

(3) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同成績者が出たとき（以下同成績者という）は、下記の方法で決定する。

(ア) トラック競技において次のラウンドへの進出者を決める場合、写真判定員主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも同成績者がありレーンが不足する場合は、同成績者または代理人によって抽選する。なお、アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人がTICに来なかった場合は、主催者が代行する。

(イ) 1500m・3000m・5000m・3000mSC・5000mWの同成績者は、次のラウンドに進むことができる。

10 競技用具について

(1) 競技に使用する器具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やりについては、通知した競技場備え付けの投てき用具リストに無いものと、1つしかないものに限り、当日検査の上使用を認める。希望者は招集開始時刻30分前から招集開始時刻まで（混成競技は競技開始の60分前まで）に、TICで「投てき用具検査申請書」により申し出ること。ただし、検査に合格した用具については、「預り証」を発行の上、一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げた用具は、競技終了後にTICで返却する。なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。

(2) 練習用の個人の用具は、競技場内に持ち込んではいならない。

(3) 競技場に備え付けの投てき用具は、プログラム記載（p.59）のとおりである。

11 記録表示について

(1) ○ 日本高校記録 …… 白地に赤高体連マーク入り標識

(2) ◎ 大会記録 …… 黄色に赤三角マーク入り標識

(3) ● 予選通過標準記録 …… 黄色のライン又は黄色の標識

12 予選通過標準記録

	走高跳	棒高跳	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男子	2m01	4m80	7m25	14m80	15m40	45m00	57m00	62m00
女子	1m69	3m60	5m80	12m15	12m80	40m00		46m00

(1) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。

(2) 予選通過標準記録を超えた競技者が12名に満たなかった場合は、上位12名まで決勝に進出させる。なお、12番目に同じ記録の競技者がいた場合は、下記の方法で決定する。

(ア) 走高跳・棒高跳の場合

(a) 同記録になった高さで、試技数の最も少なかった競技者。

上記(a)でも決まらない時は、下記(b)を適用する。

(b) 同記録を生じた高さまでのすべての試技数のうち、無効試技数が最も少なかった競技者。

上記(b)でも決まらない時は、複数名が決勝に進出できる。

(イ) その他フィールド競技の場合

同記録となった競技者の2番目の記録で順位を決める。それでも決められない時は3番目の記録で決める。

13 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

男子走高跳	予選	1m90（練習）	1m95	1m98	2m01	
	決勝	1m92・2m02（練習）		1m97	2m00	以降3cm
女子走高跳	予選	1m60（練習）	1m63	1m66	1m69	
	決勝	1m60・1m70（練習）		1m65	1m68	以降3cm
男子棒高跳	予選	4m50・4m70（練習）		4m60	4m70	4m80
	決勝	4m60・4m80（練習）		4m70	4m80	以降5cm
女子棒高跳	予選	3m30・3m50（練習）		3m40	3m50	3m60
	決勝	3m40・3m60（練習）		3m50	3m60	以降5cm

(1) 走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり第1位が決定するまで上記の上げ方とする。

- (2) 第1位が同成績の場合における順位決定のバーの上げ下げの幅は、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。

男子八種 走高跳	練習	1 m 4 5	1 m 6 0	1 m 8 5		
	競技	1 m 5 0 1 m 7 5	1 m 5 5 1 m 8 0	1 m 6 0 1 m 8 5	1 m 6 5 以降3cm	1 m 7 0
女子七種 走高跳	練習	1 m 2 0	1 m 4 0	1 m 5 5		
	競技	1 m 2 5 1 m 5 0	1 m 3 0 1 m 5 5	1 m 3 5 以降3cm	1 m 4 0	1 m 4 5

14 競技場への入退場について

- すべての競技者の入退場は、当該競技役員の指示に従うこと。
- すべての競技者は、競技終了後、競技役員の指示・誘導に従い、ミックスゾーン（Hゲート付近に設置する）を通り退場する。
- トラック競技の競技者の衣類は、ミックスゾーンに係員が運搬する。ただし、4×100mリレー出場者の衣類は、第4走者のみミックスゾーンまで運搬する。

15 表彰及びインタビューについて

- 各種目8位までの入賞者は、競技用ユニフォーム（下半身はジャージ等の着用可）で表彰を受けること。その際、入賞者控所で待機し、競技役員の指示を受けること。また、優勝者の学校の部旗を掲揚するので、優勝者の関係者はただちにTICに持参すること。部旗がない場合は、高体連旗を掲揚する。
- 各種目の8位までの入賞者は、競技役員の誘導でミックスゾーンを通りインタビュー室に移動、インタビュー終了後は競技役員の誘導で入賞者控所に移動する。
- 入賞者の得点は、1位8点・2位7点・3位6点・4位5点・5位4点・6位3点・7位2点・8位1点とする。
- 総合の部は男・女それぞれ1位～8位まで、トラック・フィールドの部は、男・女それぞれ3位までで表彰する。なお、総合優勝校は部旗を掲揚するので、TICに部旗を持参すること。
- 男子・女子それぞれ最優秀選手を表彰する。
- 男子・女子それぞれ総合優勝校監督を表彰する。

16 その他

- 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、主競技場内の救護室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
なお、健康上の理由により競技者に物品を渡す必要がある場合についてのみ、審判長を通じて物品を渡すことができる。
- 更衣室は、サブグラウンドに仮設テントで男女1カ所を用意する。利用目的にのみ使用できるとし、荷物は各自で管理すること。万一の場合があっても責任は負わない。
- 記録証の交付を希望する競技者は、TICに「記録証交付願」を提出し、交付料金500円を添えて申し込むこと。
- リザルトは、インターネット（山形陸上競技協会ホームページ）上で確認できる。大会終了後、各都道府県に記録集（電子データ）を送付する。
- 各都道府県監督及び競技者あての電報や遺失物は、TICで保管する。
- 記録は、記録掲示板（主競技場正面入口付近とサブグラウンド内）に掲示する。
- 主競技場内での横断幕およびのぼり旗については、事前に行った抽選順に入場し設置すること。横断幕は1校1枚とし、メインスタンドの最上部、両サイドスタンドの中段及び最上部、バックスタンドの中段及び最上部に通路をふさがないように括り付ける。のぼり旗については、1校2本以内とし、上記の各スタンド最上部のフェンスに括り付けること。国旗および優勝校旗掲揚ポールの使用は禁止する。個人名入りの横断幕等は禁止する。なお、入場順が後ろになると設置できない場合がある。
- 各学校のテントは、許可区域以外に張らないこと。

- (9) 棒高跳のポールとやりの輸送等取り扱いについては、下記のとおりとする。
- (ア) 基本的には持参すること。持参できない場合は、各校の責任で任意の運送業者を利用して配送すること。その場合、復路も各校で手配すること。
- (イ) 棒高跳のポールについては、往復の配送を依頼する場合に限り、「日本陸上競技連盟配送専用マネジメントセンター」を経由して西濃運輸で往復便として取り扱うことができる。「はばたけ世界へ南東北総体2017」ホームページ《<http://2017soutai.jp/>》にアクセスし、配送の流れや運賃・チャーター料金の確認をして手続きを行うこと。

送り先 〒994-0000 山形県天童市山王1番1号
NDソフトスタジアム山形 Fゲート前倉庫 気付
TEL 023-655-5900 FAX 023-655-5907

受付日時 7月26日(水) 10:00~16:00 7月27日(木) 10:00~16:00
7月28日(金) 10:00~16:00 7月29日(土) 10:00~16:00

- ※ 配送された棒高跳のポールとやりは、NDソフトスタジアム山形Fゲート前倉庫で保管する。
- ※ 上記(9)アでの返送については、各自の責任で手続きを行うこと。
上記(9)イでの返送については、TICに専用窓口を設ける。
- ※ 棒高跳のポールの配送に関する問い合わせ
- ・日本陸上競技連盟 配送専用マネジメントセンター
TEL 0584-83-3754 FAX 0584-78-5219
 - ・天童市実行委員会事務局 陸上競技担当
TEL 023-654-1111 (内線871・872) FAX 023-651-1303
E-mail interhigh-t@city.tendo.yamagata.jp

- (10) 集団応援は他の競技に支障のないようにすること。
- (ア) 競技の妨げとなる応援は禁止します。
- (イ) メインスタンド・サイドスタンドでの集団応援を禁止します。
- (ウ) バックスタンドでの集団応援は中段以上とし、各競技に配慮してください。
- (11) 個人情報の取り扱いに関して
- (ア) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはない。
- (イ) 参加申込書(様式2)の提出により、上記(ア)の取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・学校名・学年・都道府県名・記録の紹介や掲示板に掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表する。
また、入賞者に対しては、インタビュー室でのインタビューがあり、その他競技場外で取材を受けることがある。
- (ウ) 本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページ等で公開されることがある。
- (エ) 本大会が認めた報道機関が撮影した映像が、中継・録画放送されることがある。
- (12) 競技者及び監督には、競技会申し合わせによりIDカードが渡される。IDカードで行動できる範囲は、サブグラウンド、投てき練習場、屋内練習場及び選手控え場所とする。競技者は、競技出場時のみ本競技場内に入ることができる。IDカード使用者は、各場内を移動する場合は、必ずIDカードが確認できるように携帯すること。